

レッスン8

A. お祈りの暗唱と暗記

いつものように、あなたと、前もって頼んでおいた数人の子どもが始めのお祈りを唱えてから、子どもたちがレッスン5で習い始めたお祈りを復習しましょう。

A. 歌(すでに習っている歌も含める)

At All Times

CHORUS:

E A
We should at all times manifest

B E A B
Our truthfulness and sincerity

E A
We should at all times manifest

B E A B
Our truthfulness and sincerity (*repeat*)

E A B
When I speak, I share from the bottom of my heart

E A B
I let kind and true words be my art

E A B
Oh what a treasure is sincerity

A E B E
A beautiful mix of honesty and purity

A E B E A E
Oh what a treasure is sincerity

When I serve, I give from the bottom of my heart
I purify my thoughts and pray before I start
This way my actions can build true unity
Oh what a treasure is sincerity
Oh what a treasure is sincerity

When I pray, I pray from the bottom of my heart
I close my eyes and think of God
I don't think of my desire, I don't think of what I need
I think of how sincerity can shine through my deeds
Oh what a treasure is sincerity

CHORUS (*repeat twice*)

C. 引用文の暗記

以下の引用文を暗記するとき、このレッスンのテーマに関連する次のような考えに注意を向けるようにすると良いでしょう。

私たちの言葉と行いが私たちの心の中にあるもの反映する時、誠意という特質を示します。誠意は他の人とかかわるとき、誠実と忠実とを私たちに呼び起こします。たとえば、私たちが何かについて許しを願うとき、過ちを繰り返さないよう努力しようと心から思うのは誠意です。私たちは誠意を示せば、他の人が私たちの心の純粋さを見て信頼できるようになります。誠意という特質の大切さを忘れないようにするため、アブドル・バハの以下の引用文を暗記すると良いでしょう。

私たちは、どんな時でもせいじつ誠実とせいい誠意を表さなければなりません…。¹⁰⁷

<誠意>

1. レオ君のクラスメイトは、勉強しないでゲームばかりしています。レオ君はクラスメイトの勉強が遅れるのを心配して、みんなと一緒に勉強して、お互いに学習を助け合う方法を考えようと提案します。レオ君のクラスメイトに対する気遣いは、誠意のある振る舞いでした。
2. ローザちゃんは毎日宿題をすることをお母さんに約束しました。ご両親がそばにいなくても、ローザちゃんはきちんと宿題をします。ローザちゃんは約束したことを、誠意を持って守ります。

<表す>

1. アシヤ君は、夏休みに行った海辺の景色やそこで遊んだときの気持ちを絵で表しました。
2. 花言葉というものがあります。花などの植物に象徴的な意味をもたせたもので、例えば、花言葉でスマレが表すのは「誠実」です。

D. お話

あなたがこのレッスンで語るストーリーは、誠意という特質を持つということの意味と、その特質がないとどうなるか、子どもたちが考える助けになるでしょう。

数人の子どもを持つ夫婦の家の裏に大きな木が立っていました。その木は長年、そこに立っていて、大きくなるにつれ、枝が伸びて、家の裏の良い日除けになりました。ある冬の朝、父親がその木の下を歩いているとき、隣人に出会い、村の出来事などしばらく話していると、その隣人はその大きな木を見て言いました。「ところで、この大きな木を切りたおす時じゃないですか。伸びきってどうしようもなくなっていますよ。もし枝の一本でも折れて、あなたの家の屋根に落ちてきたら、それともっと悪いことに、あなたの子どもがその陰で遊んでいてそれが当たったらどうしますか？」隣人が行ってしまってから、父親は隣人の忠告について考えてみました。その木は彼の記憶がある限りそこに立っていたが、何の害もなかった。夏には日陰を作ってくれるし、冬には厳しい風から家を守ってくれている。その木はびくともせず強そうだ。「でも、隣人が言っていることは正しいかもしれない」と、つぶやきました。「見た目は時々、実際とは違うからな。もし、この木が見た目ほど強くなかったらどうなるだろうか？」そこで、父親はその木を切り倒すことにしました。

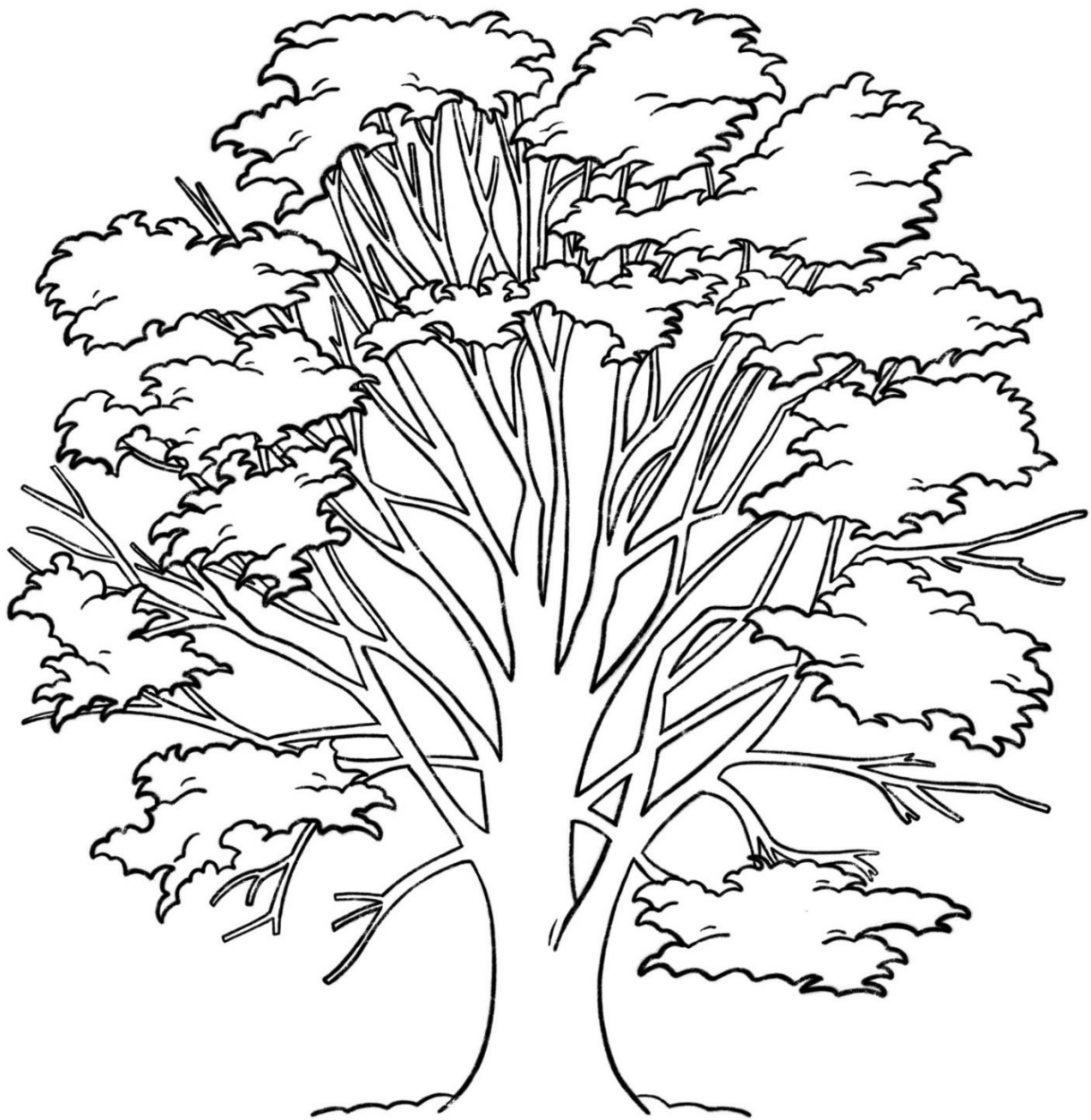
その木は大きくて、じつにたくさんの太い枝や小枝が、かなり高いところにもあったので、切り倒すのは大変な仕事でした。父親がちょうど作業を終わったころ、さっきの隣人が息子二人と一緒に荷車で戻って来ました。隣人は、積み上げられたたくさんの木を見ながら「ああ、木を切り倒すことにしたんですね。」と言いました。「誰かにその木を持って行って欲しいんじゃないですか。手伝いましょう。ちょうど荷車と二人の息子も連れて来ています。あなたの庭からこれらを全部もって行ってあげましょう」。彼の返事も待たずに、息子たちはその木を荷車に乗せはじめました。彼らが荷車を引いて行ってから、父親はこの木の切り株に座って考えました。そして、この木は長い間、自分の家を守って来たと悟りました。結局、隣人は他の人の家族の安全のことを考えていたのではなく、ただ冬の数カ月間に自分達に必要な薪を準備することしか考えていなかったと分かったのです。「見た目は、時々、実際とは違う」と、父親はため息をつきながら言いました。家族がその美しい木をその日失ったことは何と悲しいことでしょう。でも、もっと悲しいことは、その隣人が、友だちの信頼と、神様のお喜びを勝ち取る機会を失ったことです。

E. ゲーム: 熱い 冷たい

まず、子どもの一人に目隠しをして、グループに背を向けるよう言います。それから、残りの子どもたちが小さな物、たとえば鉛筆とかクレヨンを隠し、最初の子の目隠しをとり、隠した物を捜すように言います。他の子どもたちは、その子が隠した場所に近づくと大きく手を叩いて見つけるのを手伝います。隠した場所から遠のくと手を叩く音を小さくします。手を叩く代わりに、隠した場所に近付くと、「暖かい」「熱い」、離れたら、「冷たい」「とても冷たい」と言い、もっと遠のいてしまったら「凍っちゃうよ」と言うやり方もあります。隠してある場所からわざと引き離すようなことをしないよう気をつけましょう。さもないと、お互いの信用がなくなってゲームの意味がなくなります。

F. ぬり絵 8

G. 終わりの祈り



私たちは、どんな時でも誠実と誠意を表さなければなりません…。